



卓越したプレゼンの工学

MIT パトリック・ウィンストン教授「How to Speak」に学ぶ、
アイデアを世界に生き残らせるための設計図

Success = (Knowledge × Practice) » Talent

K (知識) & P (練習) : 成功を決定づける最大の変数。

T (生来の才能) : 影響力はごくわずか (無視してよい)。

オリンピックの体操金メダリスト (メアリー・ルー・レットン) より、私の方がスキーが上手かった。
私には『知識と練習』があり、彼女には『才能』しかなかったからだ。

× The Trap



× ジョークで始める

現象: 聴衆はまだあなたの「声のパラメーター」に慣れておらず、ジョークを受け取る準備ができていない。完全にスベる。

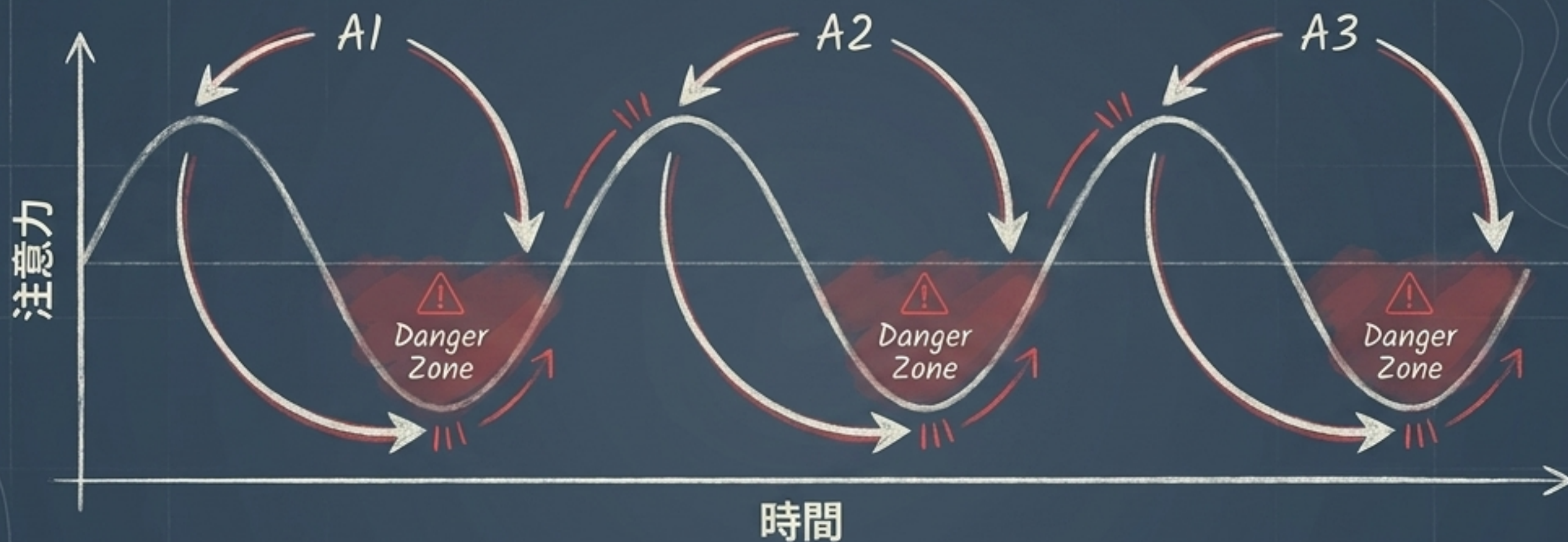
○ The Solution



○ エンパワーメントの約束

現象: 「この1時間の終わりに、あなたは今知らない○○を知っているでしょう」と宣言する。聴衆は「ここに来た価値」を即座に理解し、前のめりになる。

20%の法則と「サイクル」の技術

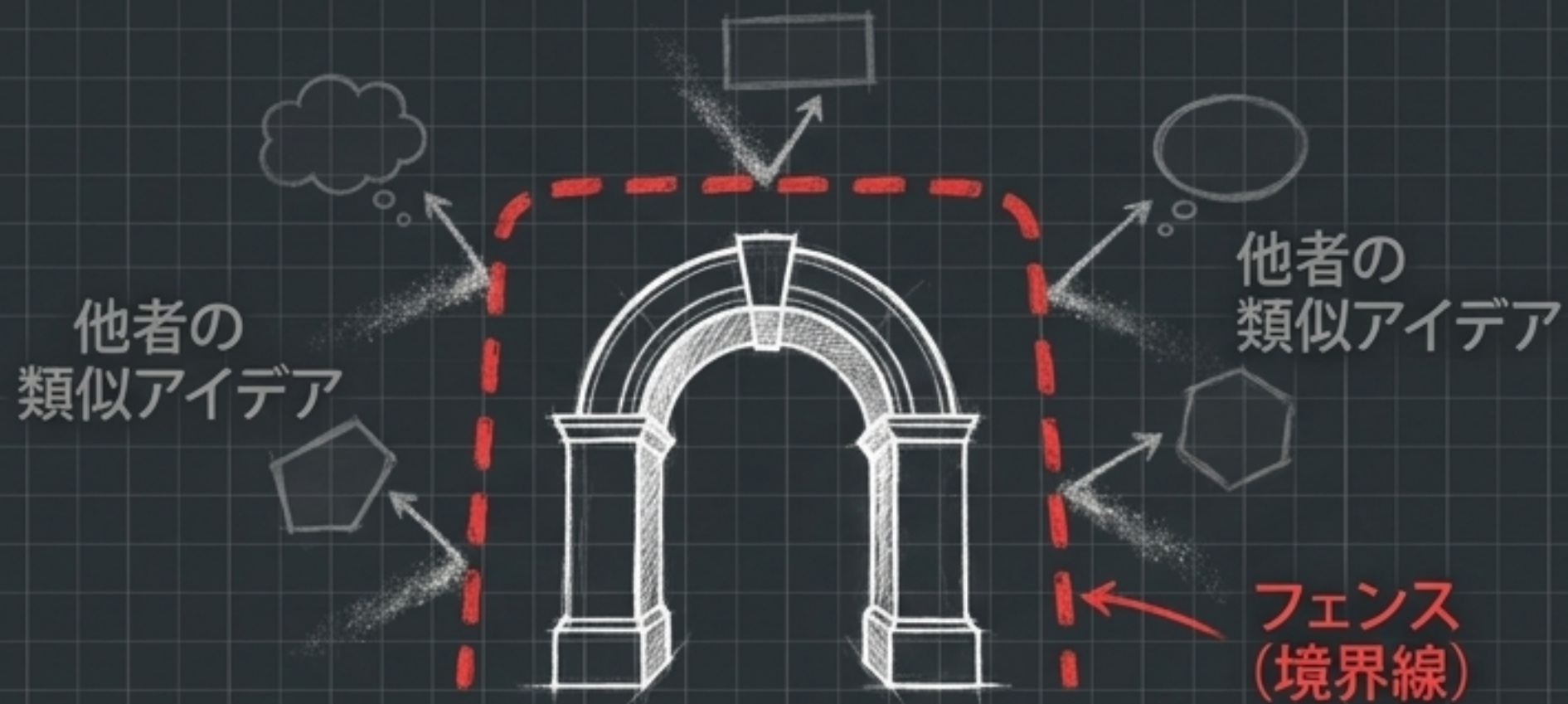


Key Insight:

どんなに優れた講演でも、常に約20%の聴衆はぼんやりしている。

Action:

「言いたいことを言って、また言って、三度目に言う」。単なる繰り返しではなく、主題の周りを「サイクル（回り込む）」ように同じメッセージを3回通過させ、波の谷間に落ちた聴衆を救い上げる。

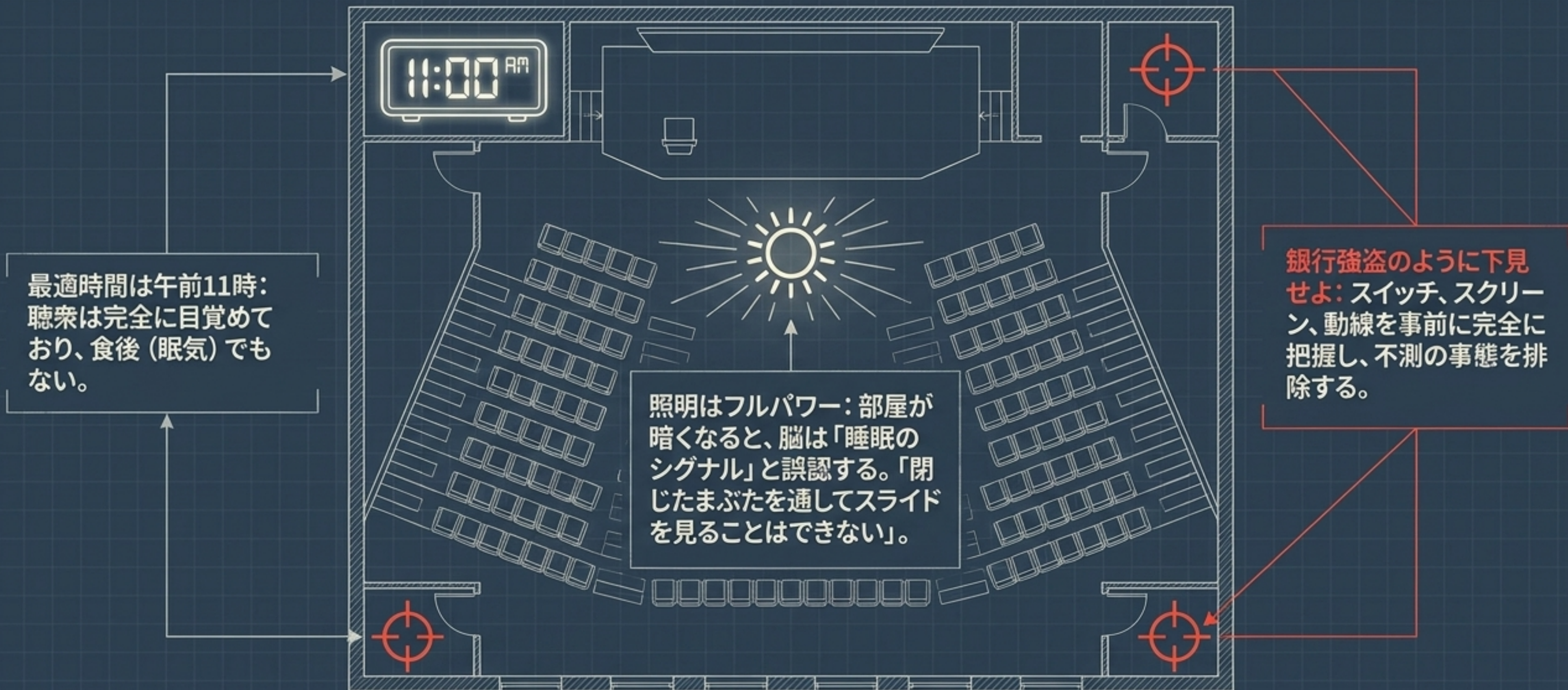


アイデアをフェンスで囲む：
「これは他者のアプローチとは違い、
こういう点で新しい」と明示しなければ、
あなたのアイデアは誰かのものと
混同される。



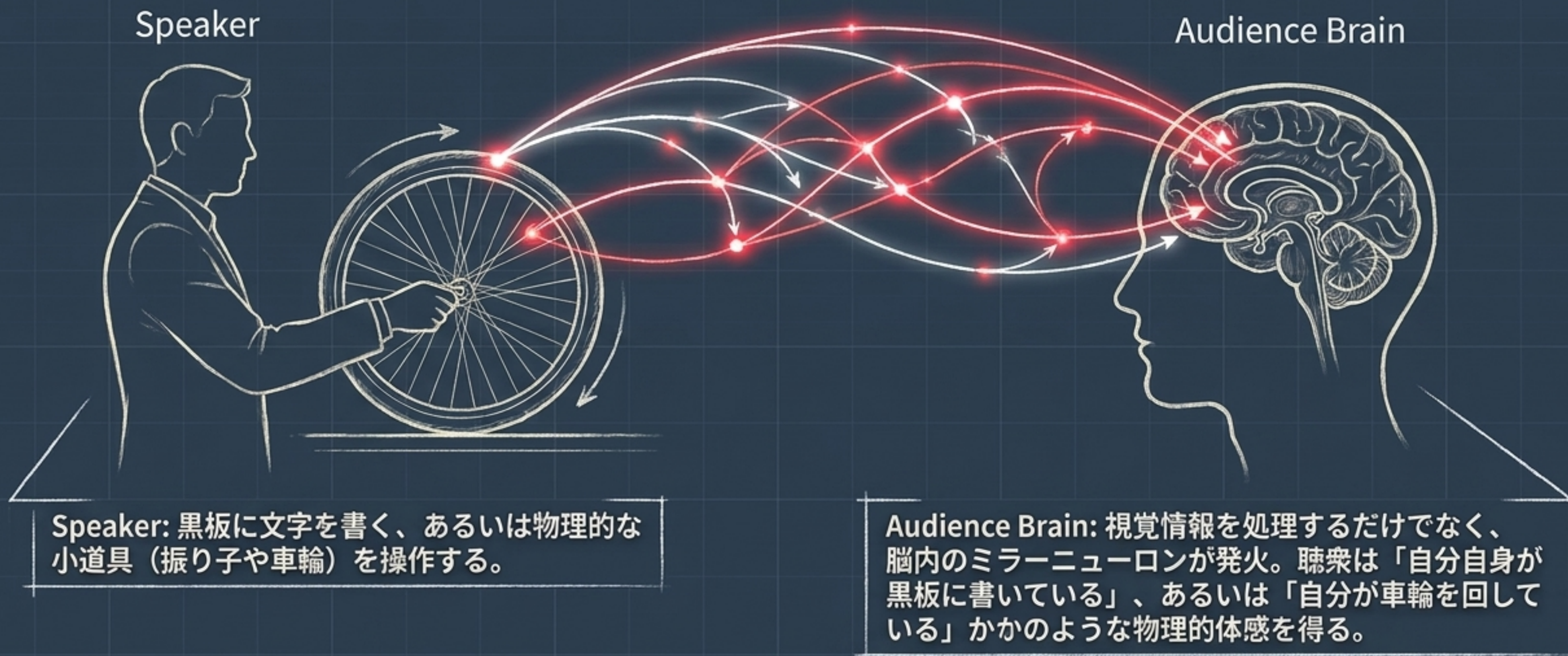
言語的な句読点：
「次に〇〇について話します」と番号
で区切り、聴衆が「バスに再乗
車」できるランドマークを設置す
る。質問を投げた後は、恐れずに
「7秒間の沈黙」を許容せよ。

環境を制する (The Physics of Presentation)



	黒板 (Board)	小道具 (Props)	スライド (Slides)
最適な目的	情報の教育と 歩調の同調	共感的な体感・ 記憶の定着	アイデアの提示・ 露出のみ
情報伝達速度	聴衆の理解速度と 完全に一致	一瞬で直感的に 伝わる	速すぎて情報過多 になりがち
聴衆との関係性	手で指し示す身体 動作による繋がり	物理現象を共有 する一体感	画面への注視に よる分離
Winston評価	極めて有効 ✓	最も強力 (20年 記憶に残る) ✓	常に多すぎ、 文字が多すぎる

共感的ミラーリング (Empathetic Mirroring)



スライド上の写真ではこの「**脳と同調**」は絶対に起きない。
これが、20年経っても「**あの車輪の講義**」として記憶に刻まれる理由である。

Architect's Blueprint

1. 言語処理器の衝突!:

人間の言語処理器は1つだけ。スライドを読んでいれば、あなたの声は聞こえていない。

1. 言語処理器の衝突!:

人間の言語処理器は1つだけ。スライドを読んでいれば、あなたの声は聞こえていない。

Bad Slide

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat. Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id est laborum.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua.

maecenas a nunc
• Donec tunc nunc
• Donec tunc nunc
• Donec tunc nunc

maecenas a nunc
• Donec tunc nunc
• Donec tunc nunc
• Donec tunc nunc

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat. Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id est laborum.

Microsoft
Microsoft
Microsoft
Microsoft
Microsoft
Microsoft

Microsoft
Microsoft
Microsoft
Microsoft
Microsoft
Microsoft



3. 散らかり!:

ロゴや箇条書き(弾丸マーク)、無駄なタイトルはすべて排除せよ。

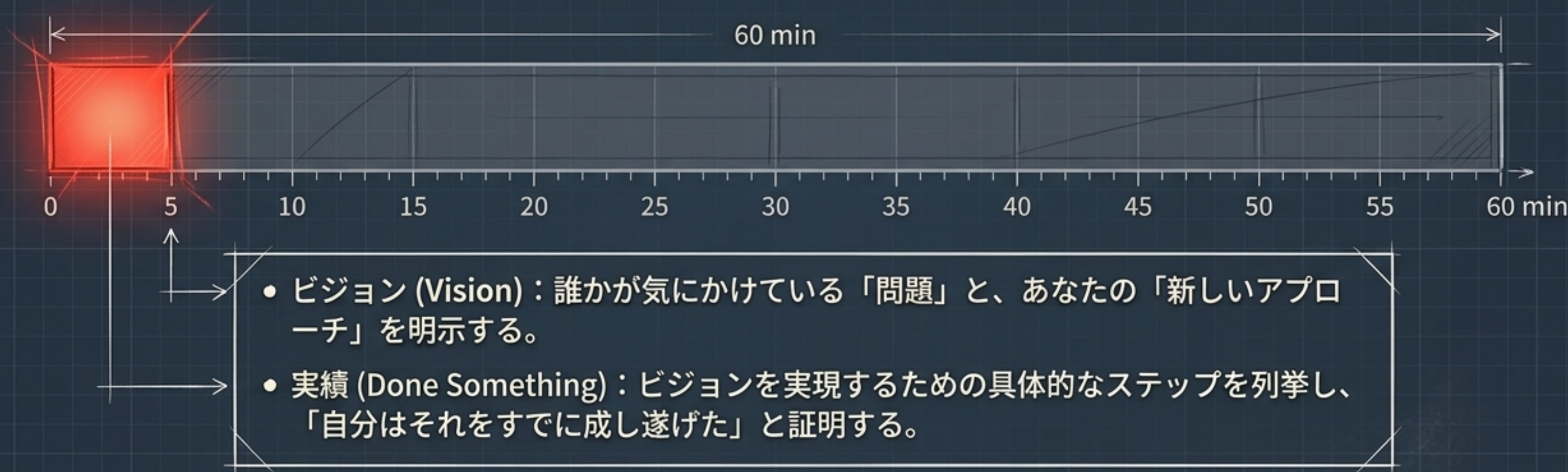
2. 文字を消せ!:

フォントは最低でも35ポイント以上。

4. 最悪の犯罪!:

レーザーポインター。画面に向かって背を向けることで、聴衆とのアイコンタクトが完全に切断される。画面上の矢印を使え。

勝負は「最初の5分」で決まる



最初の5分でこの2つを確立できなければ、その時点であなたはすでに負けている。残りの時間は消化試合に過ぎない。

Symbol (象徴): 仕事を視覚的に象徴するイメージ (例: アーチ)。

Slogan (標語): アイデアを一言で表すハンドル (例: ワンショット学習)。

Story (物語): どう発見し、なぜ重要なのかという文脈。

Salient Idea (突出): 多数のアイデアの中で際立つ一つの概念 (例: near miss / 惜しいずれ)。

Surprise (驚き): 人々の予想を裏切る事実 (例: 百万の例は不要、一例で十分)。

The
Winston
Star



The Waste

Collaborators

[Placeholder text for Collaborators slide, crossed out with a large red X]

✗ 共同研究者リストで終わる

理由: 最後のスライドは聴衆が退出する際、あるいは質疑応答中ずっと画面に残り続ける。「自分が誰なのか」を伝える最大の機会を浪費している。(共同研究者への感謝は最初のスライドで行うべき)。

The Mirror

Contributions

- 開発した革新的なアルゴリズム
- 30%の性能向上を実証
- 新しい理論的枠組みの提案
- 将来の研究への道筋

○ 貢献リストで終わる

理由: 冒頭の「約束」の鏡として機能する。あなたが何を成し遂げたのか (Contributions) を、最後に聴衆の脳裏に焼き付ける。

ご清聴ありがとうございました

「ありがとう」は弱い。それは「退屈な時間なのに、みんな礼儀で座っていてくれてありがとう」という意味を含んでしまう。

敬礼 (The Salute)

「今日ここに来て本当に刺激的でした」「皆様の質問に大いに挑発されました」と、聴衆への敬意と情熱で締める。

決意の言葉 (The Final Blessing)

ビル・クリントンが唇を噛み締め「ありがとう」を飲み込み、強いメッセージだけで拍手を引き出したように、情熱ある一言で言葉を結ぶ。

包装（パッケージング）こそが**生存戦略**



アイデアはあなたの子供のようなものだ。知識やアイデアを持っているだけでは不十分であり、それをぼろぼろの服で世界へ送り出してはならない。

本資料で解説した「約束」「反復」「環境の支配」「道具の選択」「星（5つのS）」は、単なる発表テクニックではない。自分のアイデアを他のアイデアと混同させず、正当な価値で世界に認めさせ、生き残らせるための「究極の包装技術（パッケージング）」なのである。

The Winston Playbook

1. 構造 (Structure)

- ・ 約束で始める
- ・ 3回サイクルする
- ・ フェンスで囲む
- ・ 句読点を打つ

2. 環境と道具 (Environment & Tools)

午前11時・照明フル・下見
黒板と小道具の共感力
スライドの文字を削る

3. 記憶への定着 (Memorability)

Winstonの星[★] (Symbol, Slogan,
Surprise, Salient, Story)
最初の5分でビジョンと実績を

4. 終結 (The End)

貢献リストを残す
✗ 「ありがとう」を禁じる
→ 聴衆に敬礼する

Success = (Knowledge × Practice) ≫ Talent — パトリック・ウィンストン教授